

ひまわりからの メッセージ

114号

2021. 2. 8

NPOひまわりの花内
西濃園域
発達障が支援センター
発行人：中野たみ子

春は 真近に



コロナウィルスの感染が拡大し、緊急事態宣言がまた一ヶ月延長されました。ひたひたと押し迫ってくる様な不安な状況下で私たちも子ども達も心をむしはまれて行く気がします。けれども春を待つ庭の草木や鳥のさえずりなどが明日への活力を与えてくれるようです。

裏庭では白の佗助が咲き終わったと思っていたら、私の好きなピンクの佗助が咲きはじめました。淡いピンクの佗助は、五弁の花びらの中に濃いピンクがほんの少し混じっていて、何とも言えないやさしい色です。咲き方も山茶花のように花弁がパツと開くことはなく、少しうっつき加減に咲く姿がまた安らぎを与えてくれます。華やかな花が好き方には物足りないでしょうが、佗助が茶花としても好まれるのもうなずけるように思います。

佗助は椿の一種です。豊臣秀吉が朝鮮出兵をした文禄・慶長の役の際に、佗助という名の方が持ち帰ったので、その名になったとも伝えられているのですが、私はむしろ日本人の佗の心に通じる名なのではないかと勝手に解釈しています。

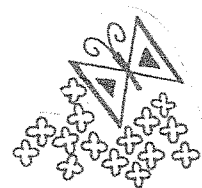
私の家から徒歩で十分位の所に金山彦命を祠る南宮大社があります。実はそこにも長い歴史をもつ椿があります。ご神木の白玉椿です。奈良時代の頃より、新嘗祭(にいなめ)の翌日に宮中で開かれた豊明の節会(とよのあかりのせちえ)には、南宮大社の白玉椿が献上されたとのことでした。日夫木和歌抄には次のような和歌があります。

美濃山の白玉椿 一つよりか豊のあかりにあひはじめむ

花にもそれぞれ歴史があり、遠い昔から人々の心に安らぎを与えてきたのだらうと思うと、その花の命もいと美しいものと思えます。心にゆとりのない時こそ、道ばたの小さな草や、芽吹いてきた樹の芽にほんのちよっと目を移してみようと思えているのです。

それにしてもコロナはいつまで続くのでしょうか。不安や恐怖は私たちの心の中に沈澱していきそうです。雪の舞う朝、風に向かて顔を上げて歩いてみましょう。コロナなんかには負けないように!! そうです。春はもう真近に來ています。心做しか日差しにも暖かさが感じられる今日この頃です。

高等学校通級について



LDやADHDのお子さんの支援の場として通級指導教室という教室があることは、広く知られるようになってきて、通級を利用したいと要望される保護者も増えてきました。

通級で学ぶお子さんは、基本、通常学級で学び週一回、一時間程度を通級に通います。発達がよくりで、支援学級の少人数の学級で学んだ方がお子さんの学びの場としては良いのだろうと思われるのに、何故か通級にこだわられる保護者の方もおられますが、長い目で見て、お子さんにとってはどうなのかなあ……と心配になります。

さて、通級が小学校から中学校へ広がり、今は高等学校へと広がってきています。

高等特別支援学校・支援学校高等部と

高等学校のの違いについて

まず、高等特別支援学校や、特別支援学校高等部と高等学校の違いをお話しておきます。

高校……卒業のために七十四単位以上、単位を取得しないと卒業できません。取得して卒業すれば、「高等学校

卒業資格となります。

高等特別支援学校・特別支援学校高等部……高等学校卒業資格はありません。高等特別支援学校は県内に二校あり、岐阜清流高等特支の定員は四十八名、西濃高等特支の定員は二十四名で、一学級は八名定員です。この二校は知的障がい(軽度) 対象なので、生徒さんは療育手帳をもっています。そして、就労をめざした教育内容となります。

(療育手帳交付については、各市町の福祉課に申し込むと子ども相談センター(現相)での検査予約など手続きしてくれます。)

学校教育法施行規則の

一部改正に伴って



平成十八年にLD・ADHDのある児童生徒を通級指導の対象とし、平成二十八年の学校教育法施行規則の一部改正によって、高校通級(少人数コミュニケーション講座)が始まりました。

平成三十年度から、不破高校と華陽フロンティア高校に、三十二年度から東濃高校に導入され、今後も飛騨高山高校などにも導入されていくようです。

そこでは、障害に応じた特別な教育課程を編成することができ、年間七単位を超えない範囲で、卒業に必要な単位数に加えることができます。ただし、小・中学校の通級同様、単に各教科の学習の遅れを取り戻すための指導を行うことはで

きません。

● 教育課程としては、二つの場合があります。

① 教育課程に加える場合

放課後や長期休業中に実施する。

② 教育課程の一部に代替する場合

選択科目の一つとして実施する。

● 通級による指導の実施形態

① 自校通級

在籍する高校で通級による指導を受ける。

② 他校通級

通級による指導が行われている学校に生徒が移動して

自立活動の指導を受ける。

③ 巡回指導

通級担当職員が対象生徒がいる学校に移動して、自立活

動による指導を行う。

● 通級対象となる障がいの種類および程度

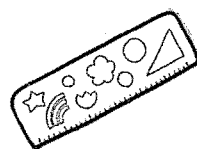
・ 自閉症又はそれに類するもので通常の学級の学習におおむ

ね参加でき、一部特別な支援を必要とする程度

・ 主として心理的な要因による選択性かん黙などがあるもので

通常の学級でおおむね学習できる。

・ 一般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計



算又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示すもの

・ 年令又は発達に不釣りあいな注意力、又は衝動性・多動性が認められ、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすもの

不破高校の通級は？

～ 田中智樹先生のお話から～

では、私たちの一番身近な不破高校についてお話を伺ったので、まとめてみました。来年度からは変更もあると思いますので、あくまで今年度のこととして書かせていただきます。

不破高の通級は自校型なので、他校の生徒は使えません。

あくまで入試を受けて不破高に合格した不破高生が対象になります。そして選択授業科目の一つとして設置されています。

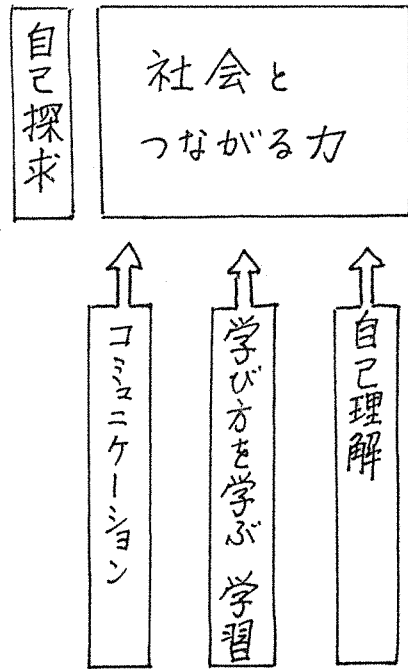
「不破高は、特別支援学校ではなく、あくまで普通高校なので特別入試はありません。特別支援学級を設置しているわけ

もないので、単位が取得できなければ、進級することは当然できません。」そうなのです。よく保護者の方と話している

と、「入れる高校に行かせます。」とおっしゃる方が多いのですが私は「卒業できる所にして下さい。」と伝えています。高校に入

学したけれど途中でやめてしまっても自信を無くし、家に閉じこもってしまった子どもたちも決して少なくありません。

では、不破高の講座を通じて目指す力は何でしょう。それは、社会とつながる力だと考えられているようです。



社会とつながる力をつけていくために、大事にされていることが、自己理解と、学習(学び方を学ぶ)とコミュニケーションという三つの柱なのでしょう。いただいたプリントには次のような項目が書かれています。それは学習の内容をでした。

- 自己理解……自分チェックリスト 感情のコントロール
- トリセツを作る 学期ごとのまとめ
- 働くことをイメージする 困ったときにどうするか
- 就職・進学に向けて(履歴書を書く面接準備)
- 学習…… 考查に向けたスケジュール 提出物の管理

- 自分に合った学び方(自分の認知特性を知る)
- 就職・進学に向けて(求人票の見方)
- コミュニケーション……ビジネスゲーム 一分間スピーチ、SST

自分の意見を伝える(わかりやすい話し方)
就職・進学に向けて(面接の練習)

ビジネススキル(電話のかけ方、メモの取り方)

大人になった発達障がいの方々にお会いした時、自分のことがよく分かっている人とそうではない人の差は歴然としていますが、自己理解はとても大切なことで、それは何も発達障がいに限ったことではありませんよね。今、多くの子ども達が持つようになったサポートブックは、色々な人の支援を受けながら、その子自身の自己理解につながってはじめて有効であると言えるの、だろうと私は思っています。

最後に田中先生は通級は居場所づくりだとおっしゃっていました。それは単なる空間を意味するのではなく「自己の存在感を実感でき、精神的に安定していることができ、ありのままの自分を受け入れてくれ、かけがえのない自分の評価を大事にしてくれる場所」ということなのです。

詳しいこととお知りになりたい方は不破高校におたずね下さい。

お知らせ

三月にはセンター親の会を開く予定をしています。

三月八日(月)九時半〜十二時 スイトピアセンター六階2です。

高校入試、全員の合格を心から祈っています。頑張ってください!!

